



伊在井 國導さん(79) 照子さん(76) 米山町・中町 1965(昭和40)年1月入籍

団子から餅まで夫婦二人三脚の愛情

★二人のなれ初めは 【國導】仲人さんに紹介されてお見合いしたね。 【照子】私は3人きょうだいの末っ子。母と二人暮らしのころにお婿さんにきてもらったの。とても感謝してるの。 ★結婚当時の思い出は 【國導】少し、太ってるなって思ってた(笑)。お見合いして1カ月で結婚したんだよ。 【照子】私が18歳の時に結婚したのね。温厚だし、ひとめぼれ。人柄にもほれ込んだのよ。 ★お互いの性格は 【國導】おだやかだから、けんかにならない今も。 【照子】優しいのよ、いつも。長年連れ添っても、変わらないね。近所からの信頼も厚い人なの。昨年まで区長も務めてたしね。 ★夫婦円満のコツは 【國導】だんご屋から商売始めて、今では餅に大福と売るようになって20年経ったなあ。 【照子】長年、たくさんの人に注文いただいて。夫婦二人三脚で仲良くやらないとね。 ★現在の楽しみは 【照子】娘夫婦が神奈川県から帰ってきて一緒に住んで手伝ってくれる楽しさかな。 ★これからしたいことは 【國導】餅も俺たちも、愛情込めて育めば、いつまでも良いものは続くってことだよ。

One's Home

ふるさとへの思い

「ふるさとの思い」

私は、神奈川県川崎市で生まれました。 2歳になった頃、米山町の畑崎という地区に家族で移り住み、15歳で就職するまでの学生時代を過ごしました。 年々、当時の記憶は薄れていきますが、幼少期の思い出として強く印象に残っているのは、櫻岡小学校(現在の東小学校)1年生の時の学校行事です。畑崎地区の隣の、狐崎地区にある羽黒山神社までの歩きの遠足は、同級生たちと楽しんで歩きました。その時に撮影した集合写真は、今でも大切にしています。時に懐かしく眺めては、思い出にふけています。 また、夏休みの季節になると、近所で小学校の教諭をして、



田中 奎子さん(78) 東京米山会副会長 米山町(畑崎)出身(旧姓II中野)

ていた中野先生の自宅に近所の子どもたちが大勢集まって、庭に敷いていたいただいたごの上で過ごしました。ラジオ体操や勉強を、学年を超えて教えたり教えてもらったりと仲良くやりました。 冬の季節には、今では道路の高さの田んぼ道は、長い土手になっていたので、風は強くて吹き飛ばされそう、雪はふぶいて前が見えず土手から転げ落ちそう、小柄の私には耐えがたく、泣きながらの通学路でした。 振り返ればいろいろあった学生期ですが、10歳だった時、私は母を亡くし途方に暮れました。母は身体が弱く、入院を繰り返す生活でしたが、必ず元気になって家に戻ってくるものと信じていました。 私の祈りは届かず、病により母は婦人となり。 悲しみから何も手に付かなくなっていた私を、近所のお姉さんが見に来てくれました。ある日「近くの家の田植えと一緒に手伝いにいこうよ」と誘ってくれたので付いていき、そこから一週間ほど近所の方々と過ごし、気がまぎれました。皆さんの優しさには、今でも心から深く感謝しています。

おらほの道の駅

農産物直売所 道の駅「三滝堂」



今年の夏は一段と暑かったので、ソフトクリームが大人気でした。ドライブ休憩時に、お立ち寄りください。

今月は、道の駅「三滝堂」の猪股浩美店長にお話を伺いました。 Qおすすめ商品や新商品などを教えてください この時期はカボチャやナスなどの秋野菜がおすすめです。今年のブドウは、大粒の果肉と甘さが絶品。 ここで作っているアップルパイは、工房で作るパンの中でも絶品です。中に入っているリンゴの味と触感が良く美味いので、お客さんは2個、3個と一度に買われていきます。腹持ちもいいし、疲れをとる作用もあり、片手で手軽に



今年は野菜がとにかく豊富。鮮度の良さは、野菜からのあふれる香りからもわかるほど。まとも買っても安いので大好評。

食べられるパンタイプにしてるので、リピーターが多い商品です。ヨーグルトやジャムと一緒に食べると、また違った味わい方を楽しめます。 Qこれから開催するイベントなどを教えてください 9月に入ると野菜、リンゴ、果物類、キノコ類と商品棚が品数豊富になります。 施設内は感染対策を施しています。自然に癒しを求めて、お立ち寄りいただければ幸いです。 【問い合わせ】道の駅「三滝堂」 0220(23)7891



リンゴのうま味と甘味が凝縮され、パイ生地はサクサク(1パック324円)

短歌 まちの文芸

作品募集! ●11月号は俳句川柳です。住所・氏名・電話番号を記入し、9月30日(木)まで応募ください。作品・氏名には全てふりがなを振ってください。 ●応募者多数の場合選考して掲載します。

乳呑み児で廻り賑やかまばゆくて 太陽のあかり月のひかりと 菅原たゑ子 (迫) 富士山頂如何なる語彙を並べても 太古を偲び声を呑むだけ 及川総一郎 (東和) これ程に登米市の光景全国に 知れ渡る快挙晴れやかに明日へ 丸山 米子 (東和) 盆まぢか庭すつきりと手入れ終え 熊谷夕へ子 (中田) ご先祖様の笑顔が浮かぶ 熊谷たかよ (中田) 畑仕事己が一日の生きがいと 汗にまみれた夫の笑顔

今生きる友を思いて励み居り 白寿の今日の我の生命かも 千葉 源治 (中田) コロナ禍に無事に閉幕東京五輪 貰いし感動身心の糧に 石崎よしの (米山) ある夜半ベッドサークル手でたたき 佐瀬 徳 (南方) 草庵の一人暮らしの夢破れ 孫子と同居これも良き哉 佐藤 昭子 (南方) 木楽子大木なれば中空を 黄色の花がそのみ染める 阿部 洋子 (津山)